

【活動名】石川県を深く学び未来へつなぐ、トキクッキー作りワークショップの実施

【学校・団体名】金沢市立工業高等学校 家庭科

活動の背景・目的

未来を担う次世代にトキへの理解を深めてもらえるよう、啓発活動の一環として、講義及び演習としてトキクッキーの製作を行う。県産食材を多く使用することに加え、手を使って体験することで、トキや能登への興味関心がわくきっかけづくりとしたい。子どもたちが地域の自然や農を身近に感じるとともに、地域社会とのつながりを感じ、トキについてより深く学ぶことを目的とする。トキに関する理解の促進及びトキ放鳥に向けた機運が上昇するように実施する。

活動内容

家庭基礎を履修する2年生に対して、トキや能登に関する講義を実施した後、トキの形をしたクッキーをアイシングする体験を行った。トキの生態や生活に必要な環境についての講義でトキに対する知識を深め、アイシング体験を行うことで、トキに対する興味・関心を高める目的。

i) トキや能登に関する講義

石川県産の食材を活用した材料のお話では、クッキーに入っている、羽咋米について学びを深めた。羽咋は、自然栽培の農地が多いことから、トキの生育にも適した環境であることも理解した。(写真1:講師の畠山氏の講演の様子)

ii) アイシング体験

トキの形をしたクッキーにアイシングを施す。冠羽の説明、くちばしの先端のセンサーの話など、クッキー作りに付随して、トキのことについても学ぶことができた。自分でデザインを考えることで、トキに対する愛着も醸成された。(写真2:生徒の体験の様子、写真3:完成したクッキーの写真)



成果・感想

「いしかわ動物園で見たことはあったが、その時はあまり真剣に見ることはなかった。今回のお話を聴いて、トキの保護にとっても関心を持ちました。」という生徒の感想から、トキについて関心が高まったことが伺えた。また、感想の中には、「トキを守っていきたい。」「トキを驚かせないように、集団で行かないなど配慮したい。」「遠くからそっと見るようにする。」など、私たちに必要な観賞マナーについて書かれているものもあった。知識が備わった結果、今後の行動にどのように生かしたいかが表現されていた。石川県のプロジェクトを応援したい声も聞かれ、今回の啓発活動を行う目的は達成されたように感じた。高齢化に伴い、次世代がトキの環境を整えることは必要不可欠であり、そのためにも若い世代の理解が大切であると改めて感じた。専門家による調査研究・取り組みに加えて、地域住民、さらには、石川県民全体で能登の地を守り、トキの生育環境を守っていく必要がある。大切な日本の文化・環境を守っていくためにどのような取り組みが必要なのかを今後一人ひとりが考え、石川県から発信し、トキを守っていきたい。